

鋸南町 地域防災力向上計画

計画推進にあたり

鋸南町は千葉県の南、房総半島の西南、安房地域にあり、そのほとんどは山地で占められている。北に鋸山（標高329m）、東に津森山（標高336m）、南に津辺野山（標高259m）があり、三方を山に囲まれ、西は東京湾に面した、面積45.19km²の地域である。

東京湾に面した海岸地域では「津波」に対する備えが、山間部、急傾斜地では「土砂災害」に対する備えに重点を置きつつ、突然の「地震災害」には、町内全域を対象に自助、共助の取り組みを進めていく。

1 自助の取組

災害による被害を最小限に止め、被害の拡大を阻止し、生命・財産を守るためには、一人でも多くの町民が、災害の犠牲者とならないことが前提である。そのために町民一人ひとりが「自分の身は自分で守る」という強い意識を持ち、最善の行動が取れるように、平時の支援が必要である。

（1）避難環境の整備

① 現状及び課題

本町では、自助の取組として防災意識の向上に加え、避難環境の整備を進めている。

防災情報伝達手段としては、防災行政無線の屋外子局はデジタル化が完了、また、登録型の携帯メール「防災安心メール」を配信しており、緊急速報メールも携帯電話事業者（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイル）と契約し配信できることとなっている。

戸別受信機については、以前に町内全世帯に無償配布したが、今後アナログ電波の終了（平成34年）を迎えるにあたり、高齢独居者にはデジタル機を配布したが、高齢者世帯・土砂災害警戒区域（指定予定含む）の世帯全部には導入がされていないので整備を進めていく必要がある。

② 基本方針

町民が最善の行動が取れるよう、課題を改善して避難環境の整備を図る。

③ 目標（平成31年度末まで）

課題を全て改善する。

④ 具体的な取組

高齢者世帯や土砂災害警戒区域（指定予定含む）の世帯にデジタル戸別受信機を整備する。

2 共助の取組

発災直後の自助の取組に加えて、地域のつながりにより自発的に救助活動や消防活動を行う自主防災組織など地域コミュニティにおける防災体制を充実させることも重要である。

(1) 自主防災組織の活動促進

① 現状及び課題

本町に現在ある自主防災組織は、行政区の組織を単位としている。東日本大震災を契機に防災意識は向上し、資機材等の備蓄を行った組織はあるが、多くの行政区では、代表となる人材の不足により思うように自主防災組織の設置が進んでいない。

被害を最小限に抑えるためには、早い段階での救助が必要となり、町民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の取り組みが重要となってくるので、行政区単位での自主的防災活動が求められる。

○自主防災組織（組織数 2組織、カバー率9.5%）

② 基本方針

現在ある組織に対しては、引き続き積極的な支援をしていくとともに、新規の行政区に対して、組織結成・活動まで必要な支援を検討し実施する。

③ 目標（平成31年度末まで）

自主防災組織のカバー率を、町内全域で100%に近づける

④ 具体的な取組

自主防災組織資機材整備補助